

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	鋼構造環境小委員会	主 査 名：岡崎太一郎 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：五十嵐規矩夫)
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造における環境負荷削減のための方策として、建物の長寿命化、部材のリデュース・リユース・リサイクルなどの調査、研究を行う。</p> <p>初年度：「鋼構造環境配慮設計指針（案）一部材リユース」(2015 年)の課題(設計法, リユースに適した接合部, 環境評価, 部材リユースを活かす方策など)について検討する。</p> <p>2 年度：部材リユースに関する最新情報(例：東京五輪)を分析し、前年度の課題検討結果のブラッシュアップをはかる</p> <p>3 年度：指針（案）の改定案を作成する。</p> <p>4 年度：シンポジウムを企画し、指針（案）の改定案に関して意見を問いまとめ、改定原稿執筆に着手する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：岡崎太一郎(北海道大学) 幹事：和田昌敏(日鉄建材) 委員：岩田 衛(神奈川大学) 岩田善裕(建築研究所) 兼光知己(清水建設) 木村 麗(建材試験センター) 小岩和彦(三菱地所設計) 高橋聡史(鹿島建設) 田中照久(福岡大学) 藤田哲也(日本設計) 藤田正則(神奈川大学) 緑川光正(建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：有(ただし、更新の必要あり) 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s43/">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s43/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	学術論文 Masanori Fujita, Tetsuya Fujita, Mamoru Iwata, Yoshihiro Iwata, Tomomi Kanemitsu, Urara Kimura, Kazuhiko Koiwa, Mitsumasa Midorikawa, Taichiro Okazaki, Satoshi Takahashi, Teruhisa Tanaka, and Masatoshi Wada. (2023). "Japanese efforts toward design and construction of steel buildings using reclaimed steel." Journal of Structural Engineering, American Society of Civil Engineers, 149(1), 04022225. <a href="https://doi.org/10.1061/(ASCE)ST.1943-541X.0003473">https://doi.org/10.1061/(ASCE)ST.1943-541X.0003473</a>
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『鋼構造環境配慮設計指針（案）一部材リユース』を国際ジャーナルに投稿し、国際発信する目的を達成した。 2. 指針（案）の改定に向けた準備を進めている。当初予定より遅れているが、2 年か3 年のうちに原稿を完成する予定で進めている。 3. シンポジウムの開催に至らなかったが、指針（案）改定のタイミングで、今後、企画する。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし